



2021/10/02 公開  
ごうちゃんねる (GO-CHANNEL) ◆ 終末預言シリーズ (前兆編) ◆  
#4 「異常気象と巨大地震に備えよ」

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。このシリーズでは、終末時代の前兆についてお話ししております。“終末の時・終わりの時・終わりの日” というのは、狭い意味では7年間の患難時代を指します。この患難時代に突入する前に、時系列で並べることの出来る前触れが10個あるんですね。1つ目は**全地球的規模の戦争**でした。これは2つの世界大戦で成就しました。

2つ目は**全地球的規模の天変地異と食料難**です。キリストはこのように言われたからです。**マタイの福音書 24章7節**「…**方々にききんと地震が起こります。**」

**方々**。これは地球スケールを指しているんですね。**飢饉**は食料難のために人々が飢えで苦しむことを指しています。**地震**は文字通り地震です。これらがどこかの地域限定ではなく、世界中**方々**で起こると言われたんですね。しかも、年々それが激化することを語っておられるのです。本当にそんなことが起こっているのか、このシリーズでは少し検証したいと思います。

まず**飢饉**についての検証です。日本で**飢饉**をイメージするのは、もしかしたら難しいですね。一般の日本人が一番金を使っているのは**ダイエット**だからです。いかに痩せるかで苦勞しているんですね。大手コンビニ1軒が1年間に捨てる食品の総金額は468万円ですよ。今のサラリーマンの年間平均所得が436万円です。平均年収を上回る金額の食品がゴミとして捨てられている国、それが日本。食品ロスと言われてますよね。値引きして売るよりも捨てる方が、コンビニ本部にとって利益になるので捨てて行く。そんなことがまかり通っているのは、日本が経済的に豊かな国だからです。

しかし、世界の全ての国が日本並みの経済力を持っているわけではありません。今世界人口78億人です。23億人が年間を通じて適当な食物の入手が困難になっています。世界人口の3割は飢えている。そして8億1千万人は**飢餓状態**。5歳未満の子供の死亡原因の45%は**食料不足**です。ですから世界的スケールで見れば、今**食料難**ということが人類の大問題になっているのです。

食料不足はなぜ起こるのでしょうか？ 2つの理由で起こるんですね。

#### ①**自然が原因で起こる問題**

これは、“**異常気象が通常気象になっているために起こる問題**” と言い替えることが出来るんじゃないでしょうか。夏なのに寒かったり、冬なのに暖かかったり、長雨がむちゃくちゃ続いて洪水になったり、火山の噴火によって太陽の光が届かなくなったり。

また**異常気象**によって、通常では発生し得ないような植物の病気や、サバクトビバッタに代表されるような害虫の大量発生によって、折角作った食物が全部食い荒らされてしまうというようなことですね。この自然災害が原因で起こる**飢饉**は確かにあります。

#### ②**人災**

人的原因で起こる**飢饉**とは何でしょう？ 主には**戦争・クーデター・内乱・失政**ですね。

たとえば、中国で昔**毛沢東**という独裁者が農業政策にも口出ししたんです。そのために、農民1500万人~5500万人とも言われる人々が**餓死**したと言われています。

なぜ、こんなに多くの人々が食べられずに死んでしまったのでしょうか？ 政治的間違い（失政）の人災に天災が加わると相乗効果を生んで、その悲惨さは凄まじい結末に至ってしまうんです。

世界のあちこちで起こった飢饉の記録をウィキペディアで調べたところ、17世紀には24回、18世紀には28回、19世紀には27回、20世紀に入ると突然43回に跳ね上がり、21世紀に入ってまだ21年しか経ってないけれど既に14回です。（出典ウィキペディア）

このペースで行くと、21世紀は70回の飢饉が世界のどこかで起こると勘定になってしまうのです。

人類は農業革命・緑の革命と言われましたね。緑の革命によって、大量に生産できるような、実るような品種改良に成功しています。冷害に強い稲作や、気候変動にもタフな作物を作るように品種改良をやったんですね。それで人類は、農業技術の革命的発展によって、かつてないほど大量に収穫できるようになりました。しかし実際には、人災と天災が重なることによって、飢饉が爆発的に増えているのです。キリストはなんと言われましたか？「世の終わりの前兆として、[方々にききんと地震が起こります。](#)」それが実際に起こっていることなのです。

次に[地震](#)です。一般にはマグニチュード7以上の地震を大地震と言います。マグニチュード8以上の地震は巨大地震と言うんですね。この巨大地震と、マグニチュード7台だけど死者が10名以上出た大地震を合わせたデータがあります。これもウィキペディアから引っ張り出したものですが、“世界大地震の記録”。（出典ウィキペディア）

18世紀には73回、19世紀には80回、20世紀には突然242回、21世紀はまだ21年しか経っていないのに85回。その中には東日本大震災も含まれているし、今年も8月にハイチでマグニチュード7.2の大地震が起こり、被災者80万人以上ですよ。もう巨大地震のニュース聞いても驚かない。

「あ、またか」という感じがするのではありませんか？

キリストは言われました。「[これらはすべて産みの苦しみの始まりなのです。](#)」

[産みの苦しみ](#)とは陣痛のことです。妊婦さんが出産という決定的な瞬間を迎える間、その前兆として周期的な痛みが襲いますね。これを陣痛・産みの苦しみと言います。

陣痛は基本的にはエスカレートしていくもので、出産に近づけば近づくほど、事態が進展すればするほど、痛みはよりひどくなる。それと同じように、患難時代に近づけば近づくほど、飢饉や地震はいよいよ激化するのです。自然界がいよいよ苦しむのです。

聖書にこのようなことばが出て来ます。

[ローマ人への手紙 8章 22節](#)

[私たちは知っています。被造物のすべては、今に至るまで、ともにうめき、ともに産みの苦しみをしています。](#)

自然界は今 呻いているのだと言うんですね。

この呻きはなぜ起こっているのでしょうか？ そして、どのようにして終わるのでしょうか？

ところで皆さんは、大塚家具という会社をご存知でしょうか？ つい数年前まで無借金経営、キャッシュリッチの超優良企業でした。しかし、創業者の父親と娘の間に権力争い・お家騒動が起こってしまい、娘の方が打ち勝って社長の座に座りました。すぐに今までの経営方針が大きく変わり、途端に業績が大幅に悪化して5期連続赤字計上、累積損失は250億円にも上ったのです。そうして今年、とうとう株式市場から姿を消してしまいました。

原因はいったいどこにあったんでしょう？ 有能な父を無能な娘が追い出し、ダメダメ経営を続けたことです。その結果、一番しんどい目をしたのは、もっと言えば、一番呻く羽目に陥ったのは社員たちです。トップがいざこざでダメダメ経営をすると、トップの下にいる全ての社員が共に呻き、共に苦しむのです。

実は自然界にもオーナーがおられます。それは、この自然界をお造りになった創造主です。創造主なる神から自然界の管理・経営を任されていた、言わば雇われ社長が人類でした。ところが人類の代表、最初の間人はオーナーに反逆し、社長のように振る舞い、そしてダメダメ経営をしている。そのために、そのダメダメ経営者の下にいる自然界は呻いているのです。  
“飢饉や地震は自然界の呻きだ。本来支配者として君臨すべきではない者が自然界の上に君臨している。それは、人間と その背後で操っているサタンである” と聖書は語っています。

このダメダメ経営を終わらせるためには何が必要でしょうか？  
本物の経営者/オーナーが戻って来て、会社の立て直しに取り掛かることです。  
全天全地のオーナー、創造主キリストがまた帰って来られます。これがキリストの再臨なんですね。  
キリストの再臨は患難時代の最後に起こるのですが、患難時代に至るまでに 10 個の前兆があり、今日は 2 つ目をお話ししました。次回 3 つ目をお話ししたいと思います。

もしよろしければ、チャンネル登録をお願いします。  
ではまた このチャンネルでお目にかかりましょう。皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。